

「大阪・関西万博 全国旅行事業者向け会場外現地視察」の 開催について

1. 経緯

以前より旅行事業者から、団体バス乗降場及び西ゲート間の開幕前視察について強く要望を受けていた。今般、該当施設が概成したことを受け、全国の旅行事業者による現地視察の受け入れを行う。

2. 概要

(1)日時

2025年2月25日（火）、26日（水）

(2)視察範囲

夢洲第2交通ターミナル～西ゲート間（別紙参照）

(3)受入人数

1,000人～2,000人程度

一班あたり200～300人程度の入替制で実施

※参加者公募と観光バスの手配についてはJATA・ANTAが実施

※一班200～300人×4回/日×2日≒2,000人

(4)視察行程(1回あたりの所要時間は1時間30分程度)

①現地案内 30分程度

- ・来場当日の入庫方法（入庫ゲート）
- ・乗降場等（小学校低学年バスの乗降位置・集合場所・トイレ）
- ・暑熱対策（日よけテント・移動経路上のミストの設置場所）
- ・団体入場の方法（西ゲート団体入場口）
- ・バス到着の確認方法（乗り場案内サイネージ・WEBサイト）

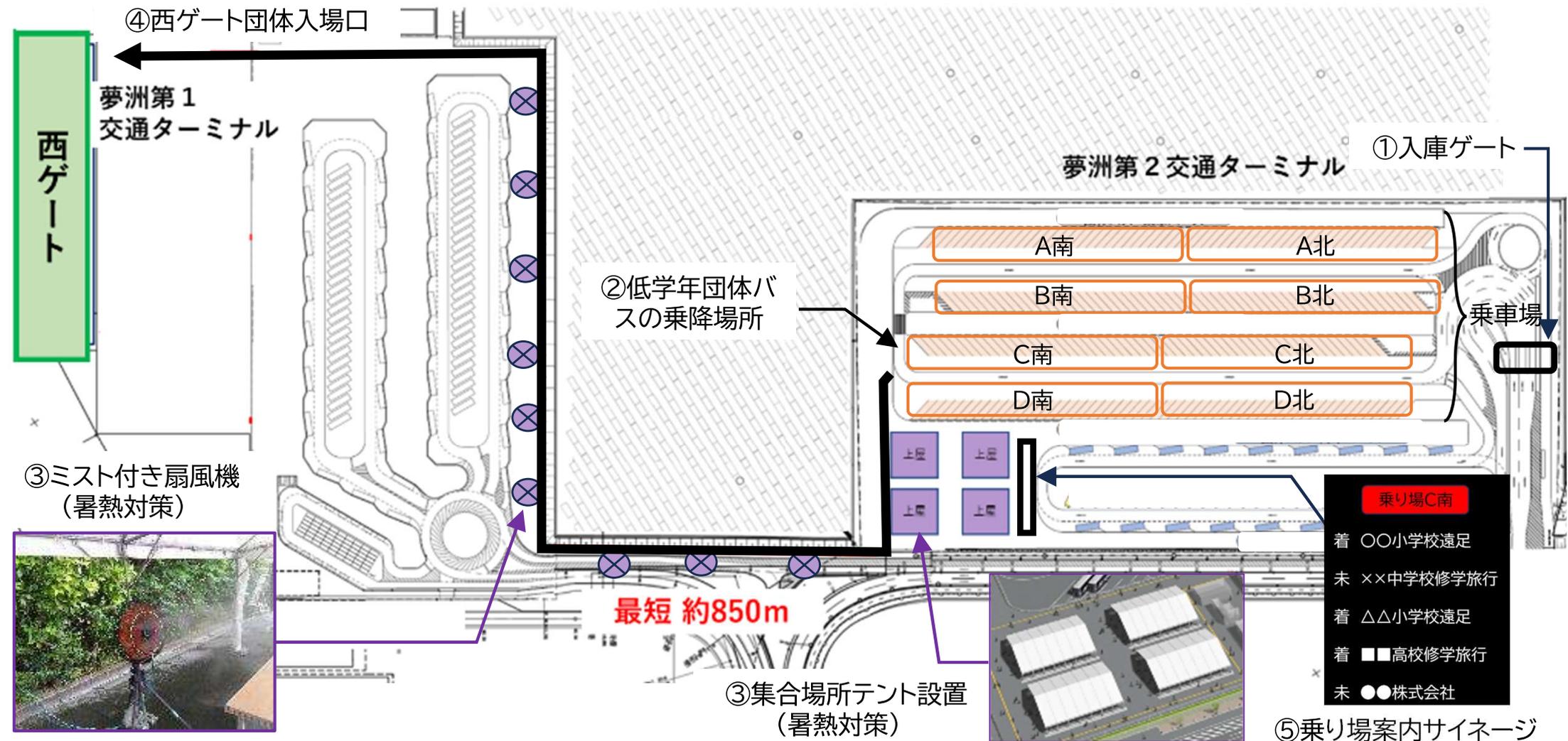
②質疑応答 15分程度

③自由視察 30分程度

④移動、入替 15分程度

■主な視察予定箇所

- ①来場当日の入庫方法(入庫ゲート)
- ②乗降場等(小学校低学年バスの乗降位置・集合場所・トイレ)
- ③暑熱対策(集合場所テント・移動経路上のミスト付き扇風機の設置予定場所)
- ④団体入場の方法(西ゲート団体入場口)
- ⑤バス到着の確認方法(乗り場案内サインージ・WEBサイト)



20250130
博覧会協会交通局

淀川左岸線(2期)の建設中区間を活用した万博専用アクセスルートの 教育旅行団体バスの利用について

1.経緯

- ・淀川左岸線(2期)の建設中区間を活用した万博専用アクセスルートについては、駅シャトルバスの定時性を確保した安全・円滑な輸送を実現するため大阪市が整備を進めていますが、教育旅行関係のバスについても当該区間を通行できるように、大阪市、阪神高速道路株式会社と調整中です。

2.通行意向の調査

- ・淀川左岸線(2期)を利用することにより、大阪市中心部の混雑を避ける等の利点があると考えています。
(例:新名神 → 新大阪 → 新御堂筋 → 淀川左岸線 → 夢洲)
- ・一方で、当該区間の通行にあたっては、大阪市との利用契約の締結、大阪市および阪神高速道路との通行車両の事前登録及び通行料金の支払い方法等について協議が必要となります。
- ・また、利用契約及び通行料金の支払いなどについて、団体単位で取りまとめていただく必要があります。
- ・上記を踏まえまして、当該区間の利用を希望される府県におかれましては、博覧会協会にご連絡ください。

3.期限

2025年2月18日(火)17時

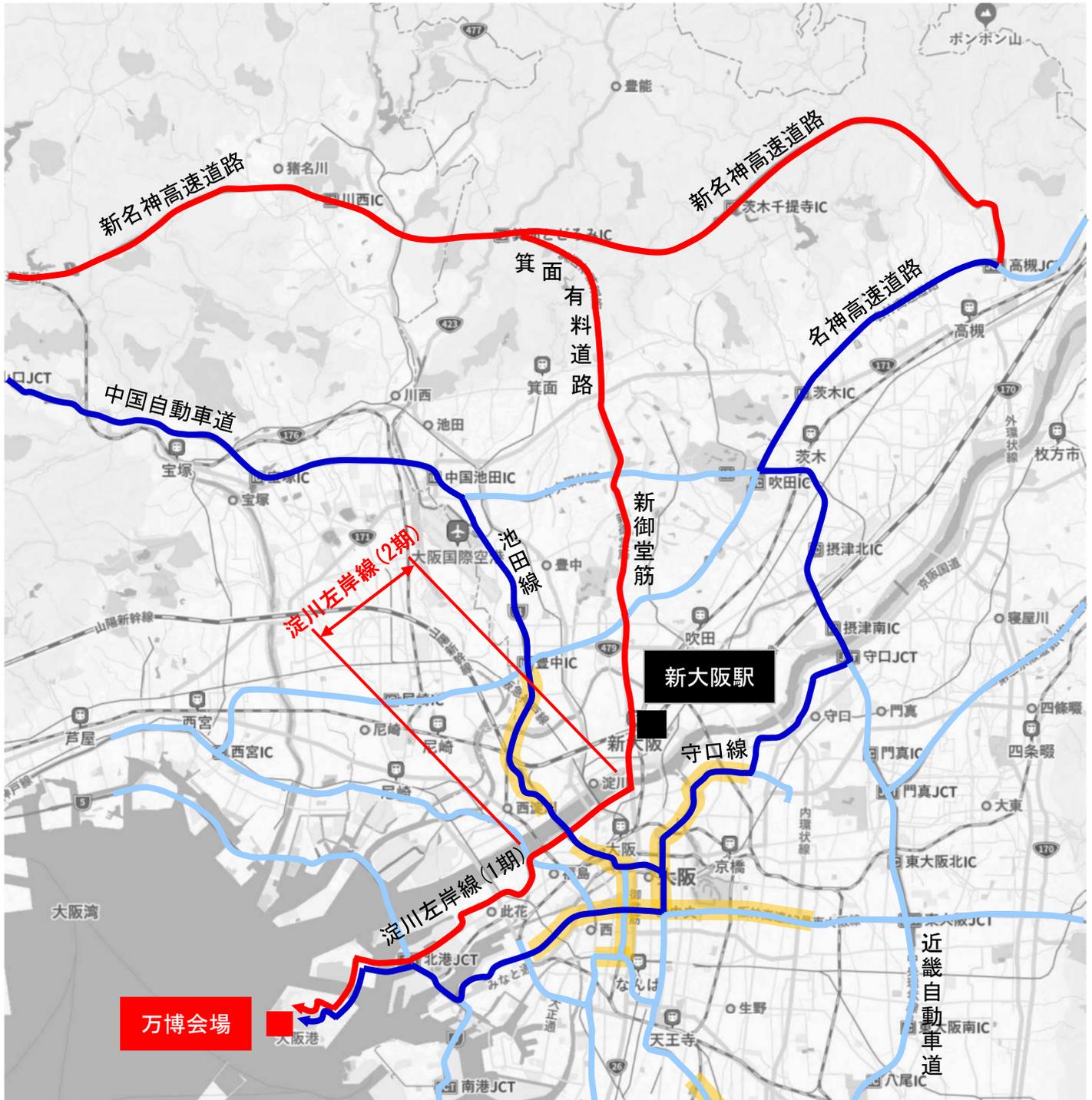
連絡窓口

○公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

交通局 交通部 輸送調整課 Mail:Kotsu@expo2025.or.jp

〈参考〉 淀川左岸線(2期)の通行で大阪都心部の渋滞を避けられます

○大阪北部方面から万博会場へのルートについて、淀川左岸線(2期)区間を通行するルートであれば、渋滞しやすい阪神高速道路の大阪都心部の通行せずに万博会場に来ることができます。



		ルート	所要時間	凡 例
高槻JCT→万博会場	名神、守口線経由		50分 (渋滞時) 60分~70分	
	淀川左岸線(2期)経由		61分	阪神高速道路で 渋滞しやすい区間
神戸JCT→万博会場	中国道、池田線経由		55分 (渋滞時) 65分~75分	
	淀川左岸線(2期)経由		63分	